本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

TWINCEPT

テレメモ20件記憶／ワールドタイム

1349

取扱説明書

1349

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

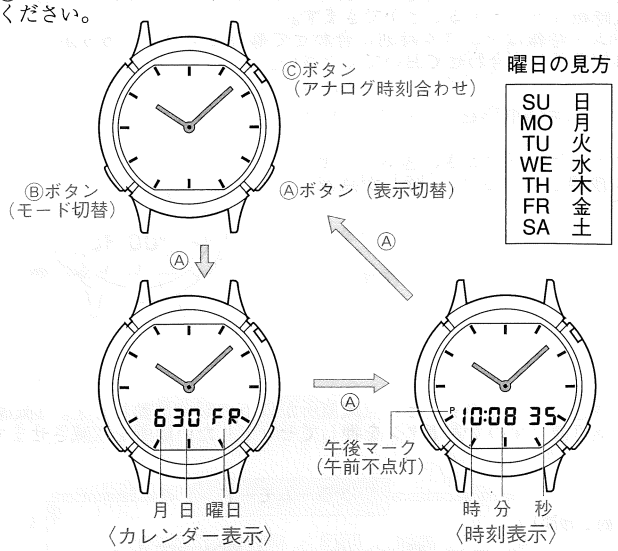
記載させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



操作のしくみと表示の見方　Ⓑボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。

時刻モード

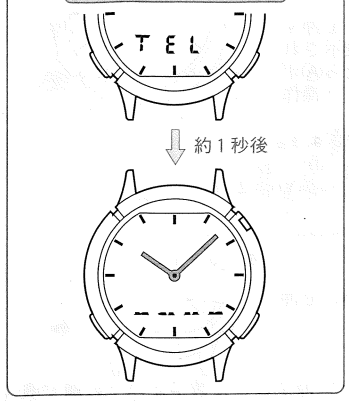
Ⓐボタンを押すごとに表示内容が変わります。お好きな表示にしてお使いください。



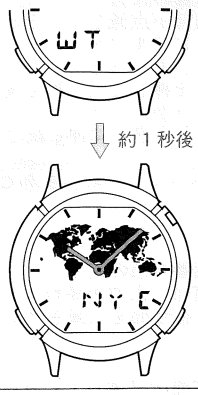
曜日の見方

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

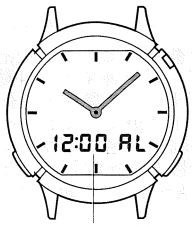
テレメモード



ワールドタイムモード



アラームモード



ストップウオッチモード



デモ（デモンストレーション）機能について

本機は、工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能」に設定されています。（デモ機能中は、モード切替等の操作はできません。）
※デモ機能とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●「デモ機能」解除のしかた
Ⓑボタン（左下）を（表示が止まり、確認音が鳴るまで）約２～３秒間押し続けます。

●「デモ機能」設定のしかた
Ⓑボタン（左下）を確認音が鳴るまで、２～３秒間押し続けます。
（ワールドタイムモードは除く）

時刻カレンダーの合わせ方

電池交換などで、時刻やカレンダーが合っていないときには、以下の方法でセットします。アナログ（針）時刻とデジタル時刻を同時に合わせるときは、「デジタル時刻」→「アナログ（針）時刻」の順で行なってください。

■デジタル時刻・カレンダーの合わせ方

●秒の合わせ方…±30秒以内の遅れ／進みの修正
なお、月に１度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

(1)時刻モードのとき、Ⓐボタンを約２秒間押します。
→現在時刻の「秒」が点滅します。



(2)時報に合わせて、Ⓑボタンを押します。
→「00秒」からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰り上がって「00秒」になります。
（時報は「時報サービス117番」が便利です。）



(3)セットが終わりましたら、Ⓐボタンを７回押して点滅を止めます。

※点滅表示のまま１～２分間ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

■アナログ時刻の合わせ方

Ⓒボタンを押すごとに1/3分ずつ進みます。押し続けると針が早く進みますので、合わせたい時刻を表示させます。



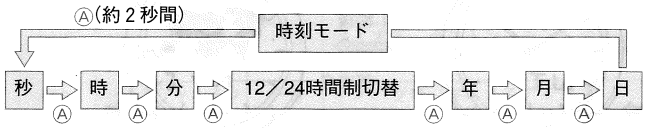
●デュアルタイム
デジタル時刻表示をアナログ時刻と別の時刻（海外の時刻）などにセットすれば、デュアルタイムとして使用できます。

●時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻モードのとき、Ⓐボタンを約２秒間押します。
→現在時刻の「秒」が点滅します。



このとき、Ⓐボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(2)セット箇所を選びましたら、Ⓑボタンを押します。
→Ⓑボタンを押すと点滅箇所の数字が１つずつ進み、押し続けると早く進みます。



Ⓐボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓑボタンで数字をセットする操作を繰り返して時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」セットのとき、午前／午後（P）にご注意ください。
※「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日（時刻モードで表示）が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(3)セットが終わりましたら、Ⓐボタンを押して時刻モードに戻します。

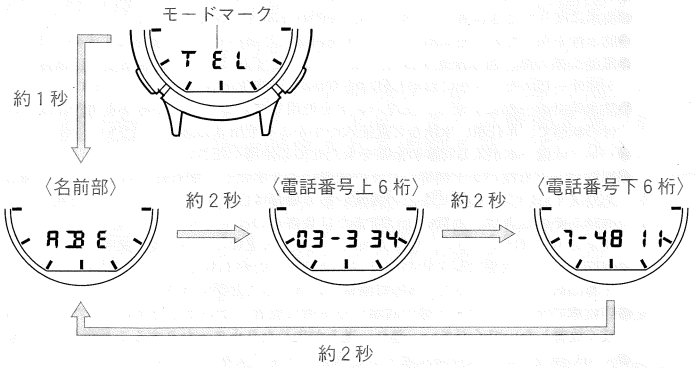
※点滅表示のまま１～２分間ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

テレメモ機能の使い方 …操作のしくみにしたがってⒷボタンを押し、テレメモモードにします

テレメモ機能はアルファベット４文字、数字12桁までの電話番号などを20件までメモリーできます。

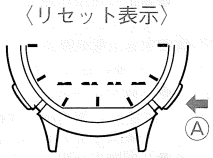
■データの表示

テレメモモードに切り替えた直後は前回テレメモモードで最後に見た名前／電話番号が約２秒ごとに切り替わって表示され、Ⓐボタンを押すごとにアルファベット順に名前が表示されます。（自動編集機能）
※電話番号（12桁）は前後にわけて６桁ずつ表示します。

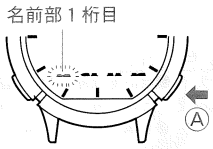


■テレメモのセット（修正）のしかた

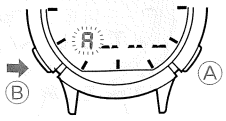
(1) テレメモモードでⒶボタンを押してリセット表示または修正したい内容を表示させます。
※データが20件分セットされているときは、リセット表示は行ないません。このときは、「消去のしかた」を参照して不要なデータを消去してください。

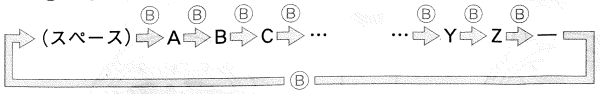


(2) Ⓐボタンを約２秒間押し続けると名前部１桁目が点滅します。このときⒶボタンを押すごとに点滅箇所が名前部１桁目から４桁目、番号部１桁目から12桁目までを１桁ずつ移動します。点滅箇所がセット可能です。

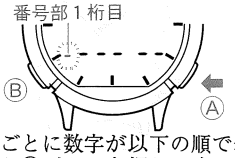


(3) **名前部の入力**
名前部が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとにアルファベットが以下の順で表示されます。セットしたい文字を表示させたらⒶボタンを押して次の桁を表示させるという操作をくりかえします。
※Ⓑ・Ⓐボタンは押し続けると早送りできます。





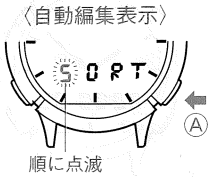
(4) **電話番号部の入力**
名前部の入力が終わりましたらⒶボタンを押して番号部を点滅させます。



番号部が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとに数字が以下の順で表示されます。セットしたい数字を表示させたらⒶボタンを押して次の桁を表示させるという操作をくりかえします。
※Ⓑ・Ⓐボタンは押し続けると早送りできます。

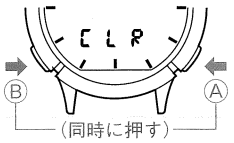


(5) 電話番号のセット（12桁目まで）が終わり、Ⓐボタンを押すと“自動編集”が行なわれ、メモリーした番号が名前部のアルファベット順に並びかえられセット完了です。
※自動編集は名前部のアルファベット４文字を１桁目から比較して行なわれ、順序はスペース、A～Z、－の順となります。



■消去のしかた

テレメモモードでⒶボタンを押して消去したい内容を表示させ、Ⓐボタンを約２秒間押すと、名前部１桁目が点滅します。このとき、Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押すと“CLR”と約２秒間表示され、メモリーされていたデータが消去されます。
→消去後はリセット表示となり新たにデータをセットすることができます。セットしないときはⒶボタンを押して点滅を送り、テレメモモードに戻します。



ワールドタイムの合わせ方 …操作のしくみにしたがってⒷボタンを押し、ワールドタイムモードにします

ワールドタイムは世界27都市の時刻をワンタッチで知ることができます。

〈都市コード一覧表〉

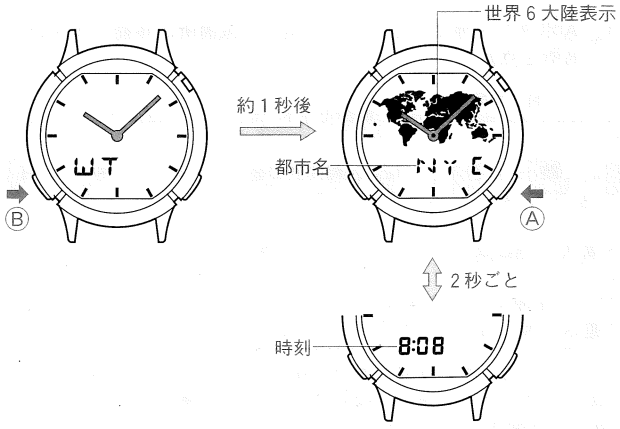
都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市・地域
HNL	ホノルル	－10	パピート
ANC	アンカレッジ	－9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	－8	サンフランシスコ、シアトル、ラスベガス
DEN	デンバー	－7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	－6	ダラス、メキシコシティ、ヒューストン
NYC	ニューヨーク	－5	マイアミ、ボストン、モントリオール
CCS	カラカス	－4	サンチアゴ
RIO	リオデジャネイロ	－3	サンパウロ、ブエノスアイレス
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	±1	リスボン、ローマ、マドリード、アムステルダム
CAI	カイロ	＋2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート、ケープタウン
JRS	イエルサレム		
JED	ジェッダ	＋3	クウェート、ナイロビ
THR	テヘラン	＋3.5	シラーズ
DXB	ドバイ	＋4	アブダビ
KBL	カブール	＋4.5	
KHI	カラチ	＋5	
DEL	デリー	＋5.5	ボンベイ、カルカッタ、コロンボ
DAC	ダッカ	＋6	
RGN	ヤンゴン	＋6.5	
BKK	バンコク	＋7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	＋8	台北、北京、シンガポール、マニラ、クワラルンプール
TYO	東京	＋9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	＋9.5	ダーウィン
SYD	シドニー	＋10	グアム島、メルボルン
NOU	ヌメア	＋11	ポートヴィラ
WLG	ウェリントン	＋12	クライストチャーチ

※この時差は1994年11月現在のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードに切り替えると、世界６大陸表示が順に点灯します。すべて点灯した時点で、前回サーチした都市を表示します。

→以後、Ⓐボタンを押すごとに、各都市の時刻が呼び出されます
※「都市名」と「時刻」を約２秒ごとに交互に表示します。

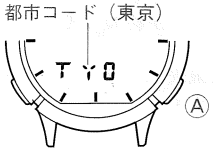


■ワールドタイムの合わせ方

27ヵ所のうち１つの標準時をセットすれば、時差にしたがい他の標準時も自動的にセットされます。標準時のセットのしかたは時刻モードの時刻セットと同様ですので参考にしてください。
※「秒」は時刻モードの時刻と連動しています。
※なお、ワールドタイムは時刻モードの時刻とは別に12/24時間制がセットできます。

例）都市コード“TYO（東京）”午後10時08分にセットする。

(1) ワールドタイムモードのときにⒶボタンを押して“TYO（東京）”をサーチします。

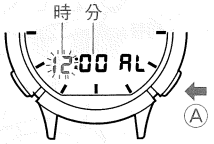


アラームの使い方 …操作のしくみにしたがってⒷボタンを押し、アラームモードにします

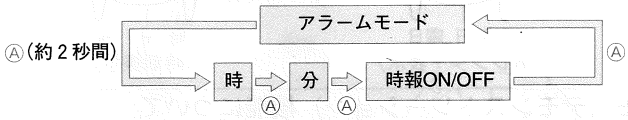
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子音で知らせる時報もセットすることができます。
※アラーム・時報はデジタル時刻に合わせて鳴りますので、あらかじめデジタル時刻を正しく合わせておいてください。

■アラーム時刻のセットのしかた

(1) アラームモードのとき、Ⓐボタンを1～2秒押し続けると、「時」が点滅します。



このときⒶボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですのでⒶボタンを押してセットしたい箇所を点滅させます。



(2) **アラーム時刻（時・分）のセット**

「時」または「分」が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとにそれぞれ1つずつ進み、押し続けると早送りします。

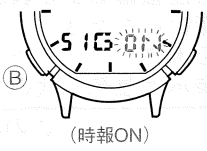


Ⓑ・Ⓐボタンで合わせたい「時」、「分」を表示させます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）にご注意ください。
※基本時計を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制表示となります。

(3) **時報ON/OFF切替**

“SIG”が点灯しているとき、Ⓑボタンを押すごとに“--（OFF）”と“ON”が切り替わります。
※“ON”にしておくと、毎正時に時報が鳴ります。



（時報ON）

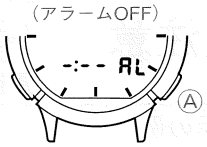
(4) セットが終わりましたら、Ⓐボタンを押してアラームモードに戻します。

※セット表示のまま1～2分すると、自動的にアラームモードに戻ります。

■アラームを鳴らすには

アラームモードのときⒶボタンを押すごとにアラームON（アラーム時刻表示）／OFF（－：－－表示）が切り替わります。

→アラーム時刻が表示しているときにアラームが鳴ります。



（アラームOFF）

■鳴っている電子音を止めるには

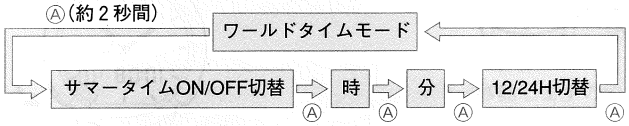
鳴っている電子音を止めるには、ⒶⒷⒸいずれかのボタンを押します。

■モニターアラーム（アラーム音を選ぶ）

ワールドタイムモードのとき、Ⓑボタンを押し続けます。
→アラームモードになり、アラーム音が鳴ります。

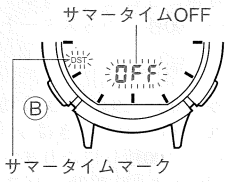
アラーム音が鳴っている間、Ⓐボタンを押すごとに「高音⇆低音」と切り替わりますので、お好きな音を選べます。

(2) Ⓐボタンを約2秒間押し続けると“OFF（またはON）”が点滅します。
（サマータイムON/OFF切替）
このとき、Ⓐボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓐボタンでセットしたい箇所を点滅させます。

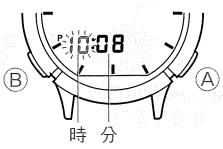


●サマータイムON/OFF切替
サマータイムON/OFF切替表示のとき、Ⓑボタンを押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

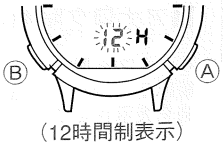
※サマータイムONのときは、OFFのときより1時間進みます。
※サマータイムはセットを行なった都市のみ有効となります。



●時・分のセット
「時」または「分」が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとにそれぞれ1つずつ進み、押し続けると早送りします。
Ⓑ・Ⓐボタンでセットしたい時刻を合わせます。
※「時」のセットのとき午前／午後（“P”点灯）24時間制表示にご注意ください。



●12／24時間制切替
“12H”（または“24H”）が点滅しているときⒷボタンを押すごとに切り替わります。



（12時間制表示）

(3) セットが終わりましたら、Ⓐボタンを押してワールドタイムモードに戻します。

※セット表示のまま1～2分すると、自動的にワールドタイムモードに戻ります。

ストップウオッチの使い方
…操作のしくみにしたがってⒷボタンを押し、ストップウオッチモードにします

ストップウオッチは1/100秒単位で、最大59分59秒99（60分計）まで計測し、以後自動的に0に戻って計測を続けます。

■計測のしかた

Ⓐボタンを押すごとにスタート／ストップします。
計測終了後、Ⓐボタンを約2秒間押し続けるとリセットされます。



●通常の計測

Ⓐ スタート　Ⓐ ストップ　Ⓐ(押し続ける) リセット

●計測中および計測停止状態でⒷボタンを押して他のモードに切り替えても、計測値に影響はありません。
●60分間を超えて計測を行なった場合には、自動的に0に戻り引き続き計測を行ないます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±20秒以内
基本機能：アナログ部＝時・分（2針）
デジタル部＝時刻表示：時・分・秒・午前／午後（P）
カレンダー表示：月・日・曜日
フルオートカレンダー（1995～2039年）
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測
アラーム機能：時刻アラーム、セット単位＝分　電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能（±30秒アジャスト）、テレメモセット機能、アラームセット機能
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、アラーム音切替、12/24時間制表示切替（時刻／ワールドタイム独立）、デモ機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS－LSI
使用電池：SR－920W（電池別途販売）
※電池はカシオ指定の電池をお使いください
電池寿命：約2年（1日当り、電子ブザーを20秒間使用した場合）

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気 ●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると ●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは付属の備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

カシオ計算機株式会社

MA9508-007501A